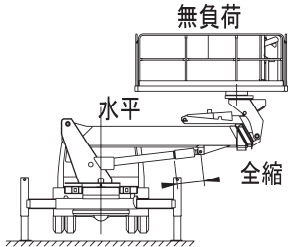
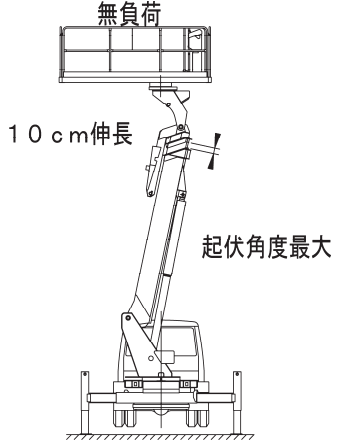
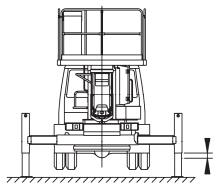


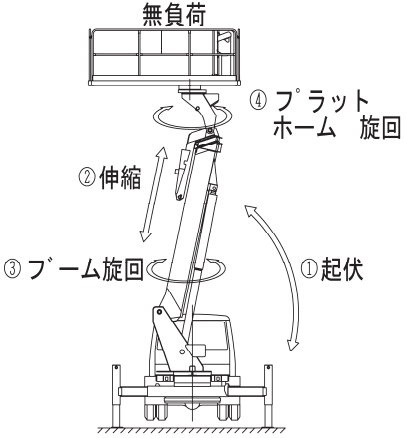
タダノ

適用範囲		モデル名		AC-121TG-2				
		スペック番号		-80201				
		適用号機		BY0105～				
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1250±50			
			ハイアイドル	min ⁻¹	2280			
		弁すき間	吸気弁	mm	0.4			
			排気弁	mm	0.4			
		圧縮圧力	Mpa (kgf/cm ²)	3.4 (35)				
	※回転速度	min ⁻¹	300～400					
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	7				
※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)					
走行装置	履帯	ゴムベルト張り(たわみ量)		mm	10～15			
		鉄シュー張り		mm	140～160			
	走行ブレーキ	制動距離		m	0.5以内			
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5以上			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下方向	mm	3以下			
			左右方向	mm	1以下			
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧(油温50℃)		Mpa (kgf/cm ²)	24.5 (250)			
		ポンプ回転数		rpm	2200			
	油圧シリンダー ※作業床は無負荷レバー操作は上げ伸び操作後中立エンジン停止時の自然降下量	自然伸縮量 ※1(添付資料)	起伏 ※ブーム水平全縮状態	mm/10min	3以下			
			伸縮 ※起伏最大角状態・ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	3以下			
		平衡装置 ※ブーム水平全縮状態	mm/10min	1以下				
安全装置	車体傾斜 警報装置	作動角度 ※前後方向		°	3			
	過積載防止装置			kg	—			
	作業範囲 規制装置			—	—			
	速度規制装置	起伏角度0° 以上で高速にならない		—	確認			
	タッチスイッチ	タッチセンサーの横バーに触れるとエンジンが停止する		—	確認			
	作動警報装置	フットスイッチを踏むと作動をブザーで警報する		—	確認			
総合テスト	作動速度 ※2(添付資料)	起伏 ※ブーム全縮	上	s	50±3			
			下	s	50±3			
		伸縮 ※起伏角最大	伸・縮	s	35±3			
		旋回 ※起伏最大、ブーム全縮	右・左	s	80±5			
		首振速度 ※ブーム全縮・水平	右・左	s	20±5			
		走行 ※走行姿勢 ブーム全縮・起伏角度0° 以下	高速	s/10m	24±3			
			低速	s/10m	40±3			

クローラ式（内燃機式）

[illegible]

※ 1. 油圧シリンダの自然降下量 1. 起状シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム全縮状態で、起操作にて水平にする。 3) エンジンを停止する。 4) シリンダ（ロッド）にマーキングする。 5) 起状操作バルブを操作し、残圧を抜き1分後に0点をセットする 6) 10分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ロッドの縮小量は2mm以内/10分 ※油温の高い時は行わないこと	
2. 伸縮シリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム起状角度最大で、伸操作にて10cm伸長する。 3) エンジンを停止する。 4) セカンドブームにマーキングする。 5) 伸縮操作バルブを操作し、残圧を抜き1分後に0点をセットする 6) 10分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 セカンドブームの縮小量は3mm以内/10分 ※油温の高い時は行わないこと	
3. ジャッキシリンダ 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) ブーム格納状態で、ジャッキ張り出し操作にてタイヤを浮かす。 3) エンジンを停止する。 4) ジャッキインナーにマーキングする。 5) アウトリガ操作バルブを操作し、残圧を抜き1分後に0点をセットする 6) 10分経過後、降下量を測定する 「判定基準」 ジャッキインナーの縮小量は1mm以内/10分 ※油温の高い時は行わないこと	

※ 2. 速度測定方法 「測定要領」 1) 車体を水平堅土上に設置する。 2) 作業車の作動範囲に障害物が無いことを確認する。 4) 各操作は旋回台で行う。 3) 油温は40±5℃で行う。 ①起状速度 1) ブーム全縮状態で、伏せ操作により「伏」エンドまで下げる。 2) 起操作により「起」エンド停止までの時間を測定する。 ②伸縮速度 1) ブームを全縮状態で、起操作により「起」エンドまで上げる。 2) 伸操作により「伸」エンド停止までの時間を測定する。 ③ブーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。 2) ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する。 3) ブーム右旋回、左旋回共に行う。 ④プラットホーム旋回速度 1) ブームを全縮、起エンド状態で後方に向ける。 2) デッキ旋回操作により1回転するまでの時間を測定する。 3) デッキ右旋回、左旋回共に行う。	
--	---

※ 4. 作業半径測定方法

〔測定機器〕

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重錘
4. 水系

「測定例」

※測定値や測定方法は、機種によって異なります
また、同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります
詳細はサービスマニュアルを参照してください。

- 1) 高所作業車を水平堅土に水平に設置する。
(タイヤが浮いていることを確認する)
- 2) ブーム操作は、下部操作の低速側にて行うこと。
- 3) ブームを水平状態にし、伸長操作にて AMC100%停止させ、作業半径を測る。
やむを得ずブームを立てて行なう場合は、上部操作で微速「伏」操作にて行なうこと。
※バスケット（プラットフォーム）の積載荷重は機種、または仕様によっても異なっているので各機種のデータを参照すること。
- 5) 規定の作業半径に達してもブームの作動が 100%停止しない場合は、作業半径が大きくなる側の操作は絶対にしないこと。

